

## 令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号	105
------	-----

### 自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の実現に向け、自ら学び自ら考え、生き生きと豊かに表現できる児童生徒の育成</li> <li>・自他を尊重し、学校や地域で生き生きと生活できる児童生徒の育成</li> <li>・運動に親しみ、心身ともに健康で、明るく元気な児童生徒の育成</li> </ul>
--------	---

評価する領域・分野	教育活動・学習指導： <b>防災安全</b> （※番号は学校評価のアンケート項目） 20：学校は、児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。	
現状及びアンケートの結果分析等	・9割の高評価を得ている。防災バッグの見直しや防災教育の取組、気象変災時の対応、PTAの防災に関する講演会など、保護者が実際に動く活動が多く、よく伝わっていると思われる。	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1) 災害時に児童生徒及び職員、保護者の命を守るために必要な防災対策を行う。 (2) PTAや地域、関係機関と連携した防災教育や防災対策を行う。 (3) 児童生徒が安心・安全に学校生活を送るために必要な点検と環境整備を行う。	
重点目標を達成するための校内組織体制と具体的取組	・「防災計画」、「環境整備」の2つの係で編成し、各種訓練や安全点検等それぞれに職員の特性を生かして各部職員を配置し、連携を取りやすくする。 ・気象変災時には、災害対策委員会を開催し、迅速に対応を検討する。	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	(1) 災害時に児童生徒及び職員、保護者の命を守るために必要な防災対策を行う。 (2) PTAや地域、関係機関と連携した防災教育や防災対策を行う。 (3) 児童生徒が安心・安全に学校生活を送るために必要な点検と環境整備を行う。	
評価の視点		評価
① 危機管理マニュアルの見直しと改訂		(A) B C D
② 各種訓練の実施		A (B) C D
③ 安全点検と環境整備		(A) B C D
取組状況・実践内容の成果と課題（○成果・▲課題）		総合評価
○危機管理マニュアルの見直しを行った。大雨等災害の可能性があるときは災害対策委員会を臨機応変に開くことができた。また、職員の防災バックの準備を呼びかけた。 ○すぐる機能を利用した引き渡し時における帰宅確認の訓練を実施できた。命を守る訓練やショート訓練を計画通りに実施し、状況に応じた訓練を実施できた。 ▲保護者には児童生徒の防災バックの準備・確認という点で協力いただいているが、地域やPTAと連携した防災教育や対策という点では不十分である。 ○外部講師を招いての職員防災研修や岐阜市消防音楽隊を招いての演奏会、講話を実施することができ、防災意識・効果を高めることができた。 ○月に一度の安全点検や年に二度の安全総点検によって、校内外の安全点検を定期的に実施することができた。また、学校用務員と連携し、必要に応じて迅速に環境整備を行うことができた。		(A) B C D

<p>来年度に向けての改善方策案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルを見直す機会を設定し、引き渡しマニュアルや非常変災時の対応について随時、変更や柔軟な対応を意識していく。</li> <li>・P T Aまたは地域と連携した防災に関する取組み（防災食の試食等）を計画し実施する。</li> <li>・引き続き月に一度の安全点検と年に二回の安全総点検の実施を行い、よりよい実施方法、点検項目の内容の検討を行っていく。</li> </ul>
----------------------	---

**学校関係者評価** （令和7年2月27日実施）

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本巢市は警報が出ることが多く、休校になる場合もあるが、そのようなときに本校の児童生徒が安全に過ごす場所は放課後等デイサービス事業所や自宅であると聞く。把握するのは難しいかもしれないが、把握してはどうか。</li> <li>・いろいろな訓練が適切に実施されている。北駐車場への非難を考えたのもよい。</li> </ul>
--